

ラオス国ルアンパンバン県における 環境教育システムの構築

活動地域  ラオス



中学校でのゴミ分別ワークショップ

課題

自然と寄り添って暮らすラオスの人々にとって、環境問題は生活を脅かす。そのため、子どもたちが身の回りの環境問題について学ぶことができる教育が必要とされている。

目標

ラオス国ルアンパンバン県の学校にて、環境教育の教材開発、教員の人材育成、教育プログラムの定着が行われる。



今後の展望

教材開発、それを活用した中学校での活動は順調に進んでいるが、定着のためには、教材を改良し、使い続けられるようにしていく必要がある。また、環境教育を実施し続けるための現金収入向上の仕組みを作っていく。

ひろげる助成

2年目

実践

活動内容と成果

- 農業大学の環境保全チームとともに、ルアンパンバン都市開発局の協力を得ながら、2年目のテーマとして、ラオスのゴミ問題に関する中学生向けの教材を開発した
- 開発した教材を活用し、中学校2校で森林保全ワークショップ2回とゴミ問題ワークショップを3回開催した。ワークショップの参加者は、2校合わせて4年生118人、5年生110人、教員4人となった
- 中学校で週3日環境活動に取り組む時間が設けられ、その活動で分別したリサイクルゴミを農業大学が取りまとめ、都市開発局に買い取ってもらう仕組みを作ることができた



ゴミ分解年数カードゲーム

中学校2校で
5年生への環境授業 **3回**

中学校2校で校内清掃
活動の定着 **3日/週**

今年度計画の達成度 **60%**

目標達成度 **60%**

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

中学校でゴミ分別場設置と校内清掃活動の実施にあたり、地域が行政のゴミ収集の対象外だったため、処理が問題となった。

■ 工夫した点

県のゴミ処理を担当する行政機関と協議し、現地協力団体と学校でネットワークを作ることでもリサイクルゴミの処理計画を作った。

〒102-0092
東京都千代田区隼町2-12
藤和半蔵門コープ103号
電話：03-3512-0355
E-mail：info@habitat.or.jp
HP：https://www.habitat.or.jp

